

平成 25 年度第 21 回 全国高等学校生徒商業研究発表大会 報告

千葉県高等学校教育研究会商業部会事務局長
第 21 回全国高等学校生徒商業研究発表大会千葉大会事務局長
千葉県立千葉商業高等学校教諭 岡松 英雄

1. はじめに

第 21 回全国高等学校生徒商業研究発表大会千葉大会が千葉県文化会館を会場に盛大に開催された。本大会は商業関係の各種全国大会の中でも、最大規模の大会である。本県としては、この大会の準備に足かけ 3 年の歳月を要し、多くの準備と労力を費やした。本県商業部会としては、この機会を全国の商業教育の活性化につなげられるよう、県一丸となって取り組んだ大会となった。以下に、本大会を報告の形でまとめ、今後の礎としたい。

2. 千葉大会の特徴

過去の大会と比較し、千葉大会には 3 つの大きな特徴があった。

(1) 過去最大級の大ホールでの実施

会場の千葉県文化会館は千葉県内屈指のホールであり、発表会場の大ホールは 1,800 人を超える収容人数を誇る。全国大会に出場する生徒たちの一生の思い出になるよう、可能な限り立派な施設での開催を目指し、全館貸切の形で大会を運営した。

(2) 過去最大規模の観客動員

大ホールを準備しても、観客が少なくではその意義はないに等しい。生徒の素晴らしい発表をできるだけ多くの皆様に見ていただけるよう計画を進めた。当日は千葉県立一宮商業高等学校、千葉県立千葉商業高等学校の全校生徒観覧もあり、期間中延べ 3,000 人近くの人々が集った。連日、ホールがほぼ満員となり、温かい雰囲気会場を包んだ。

(3) マルチウィンドウプロセッサ導入によるシームレスな大会運営

昨年度、徳島大会にて導入されたマルチスキャンコンバータを参考に、千葉大会でもシームレスな大会運営を目指した。高価な機械ではあるが、従来の画面合わせなどの作業はほぼなくなり、スムーズな大会運営を行うことができた。

3. 大会の目的と研究テーマ

(1) 大会の目的

商業を学ぶ生徒が商業に関する課題を設定し、その解決を図る一連の研究活動のなかで、生徒の問題解決能力や創造的学習態度を育てるとともに、その成果を発表する機会を通して、生徒の表現力やコミュニケーション能力を育成する。

さらには、本大会を通して以下の教育成果の実現を目指す。

- ①時代の進展に伴い変化していく経済活動に対応しうる資質を身につけさせる。
- ②研究成果の発表により、相互研鑽に資する姿勢を身につけさせる。
- ③大会に関連する一連の行動を通じ、規律ある団体生活の態度を身につけさせる。

(2) 研究テーマ

- ①地域の商業活動及び産業経済に関する調査研究
- ②商品の実験または広告・宣伝等に関する調査研究
- ③企業の経営に関する調査研究
- ④企業会計・事務・販売等に関する調査研究
- ⑤「課題研究」「総合実践」に関する調査研究
- ⑥商業の教科・科目の内容についての調査研究

4. 日程

平成 25 年 11 月 27 日(水)

9:40～16:40 リハーサル
17:00～18:00 引率者打合せ

平成 25 年 11 月 28 日(木)

9:30～10:20 開会式
10:30～16:30 研究発表
18:00～19:30 参加者交流会

平成 25 年 11 月 29 日(金)

9:30～11:00 研究発表
11:40～12:30 表彰・講評・閉会式

5. 発表参加・研修参加等

(1) 参加校とテーマ(プログラム順)

- ①北信越ブロック 新潟県立新発田商業高等学校
[スマイル×幸せ×酒の華
～地域に家庭に笑顔を咲かせよう～]
- ②九州ブロック 沖縄県立浦添商業高等学校
[パン・スイーツの街、浦添で生き抜くためには？
～新米パン屋のコンサルティング～]
- ③四国ブロック 愛媛県立八幡浜商業高等学校
[All, For Tomorrow
～みかんクッキーの販売改善と国際支援～]
- ④京神ブロック 神奈川県立厚木商業高等学校
[Visa デビットカードが開く、次世代型社会貢献の扉
～100円で世界を変えるビジネス season 2～]
- ⑤近畿ブロック 兵庫県立神戸商業高等学校
[商品企画・開発・販売実習 Shop KENSHO
「県商生活」～平成24年度の取り組みについて～]
- ⑥北海道ブロック 北海道千歳高等学校
[チトセのマチにトキメキを
～新しい地域発信のカタチ～]
- ⑦中国ブロック 岡山県立岡山南高等学校
[想いはひとつ!おかやま愛ス ～高校生によるブランド戦略で地域の想いを商品に変える～]
- ⑧開催県代表 千葉県立一宮商業高等学校
[一宮のやる気、元気、本気
～一宮町活性化プロジェクト～]
- ⑨東海ブロック 岐阜県立大垣商業高等学校
[大垣まちなか再発見プロジェクト
～AR技術を活用したアプリ開発を通じて～]
- ⑩東北ブロック 青森県立黒石商業高等学校
[既存製品の用途開拓商品の提案 ～こけしとチェスのコラボ商品「こけス」の販売を目指して～]
- ⑪関東ブロック
利根沼田学校組合立利根商業高等学校
[Look for the possibility
～新たな情報発信で観光PR～]
- ⑫東海ブロック 愛知県立岡崎商業高等学校
[笑顔の定期便 ～高齢者見守り事業～]
- ⑬東北ブロック 岩手県立宮古商業高等学校
[新たななる挑戦 ～商品開発の先にあるもの～]
- ⑭中国ブロック 島根県立出雲商業高等学校
[緑と愛をあなたへ ～過去から未来へ繋げる神様も笑顔になるぜんざいストーリー～]
- ⑮北海道ブロック 北海道旭川商業高等学校
[beyond]
- ⑯四国ブロック 徳島県立徳島商業高等学校

- [高校生 ASEAN ビジネスモデル
～カンボジアで学校を運営しよう～]
- ⑰近畿ブロック 京都府立京都すばる高等学校
[Agri & Subaru Global Project
～地域連携農産物の海外輸出にむけた取り組み～]
- ⑱京神ブロック 東京都立江東商業高等学校
[未来への架け橋 ～気仙沼と亀戸のつながり～]
- ⑲関東ブロック 栃木県立高根沢高等学校
[ハートフル・スローツアー
～「からすやまに恋しよう」着地型観光を考える～]
- ⑳北信越ブロック 長野県小諸商業高等学校
[コラボ ～ここにはない未来は私たちがつくる～]
- ㉑九州ブロック 指宿市立指宿商業高等学校
[「株式会社 指商」 事業戦略『イブノミックス』]
- (2) 発表参加者数
10ブロック 20都道府県 21校 引率者38名
生徒202名(男49名 女153名) 計240名
- (3) 研修参加者数
9ブロック 22都道府県 49校
教員72名 生徒14名 計86名
6. 大会結果
文部科学大臣賞, 産業教育振興中央会賞, 最優秀賞
岩手県立宮古商業高等学校
優秀賞
岡山県立岡山南高等学校
沖縄県立浦添商業高等学校
徳島県立徳島商業高等学校
愛知県立岡崎商業高等学校
7. おわりに
本大会は終始, 多数の観覧者の温かい大きな拍手が会場を包み, 参加生徒に勇気や夢や希望を与える大会になったように思う。本大会が, 当初の目標の一つであった参加生徒への一生の思い出づくりに寄与できたとすれば, 運営に携わった委員としてこれほどの喜びはない。この数十年に一度の大事業を盛会のうちに終了できたのも, 御来賓の先生方はもちろんのこと, 全国商業高等学校長協会ならびに公益財団法人全国商業高等学校協会からの多大な御支援・御助言をいただいた賜物である。この場を借りて厚く御礼を申し上げる次第である。また, 今大会の成功に向けてお力添えをいただいた審査委員の皆様, 関係の先生方, 役員の生徒の皆様にご心より感謝を申し上げ, 本大会の報告とする。